

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

道志村活動記録記念誌



道志村長
長田 富也

令和3年夏、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が日本で開催されました。7月24日、25日の両日は、本村をコースの一部として実施された自転車ロードレース競技が開催され、村内外から234名のコースサポーターにご参加いただきとともに、多くの村民の皆様のご協力をいただきながら、無事終了することができました。新型コロナウイルスの感染拡大という非常に困難な状況下において、オリンピック史上初となる1年間の延期という大きな挑戦の中で、本村の競技への対応や、これまでの取組は、関係者からも高い評価を

いただくことができました。これもひとえに、関係各位の皆様方の多大なるご支援とご協力の賜物と深く感謝しております。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、ほとんどの競技で異例の無観客での開催となり、本村でも沿道の観戦を自粛していただくなどの対応を取らせていただき、私自身も自宅からの観戦となりましたが、世界のトップアスリートたちの活躍を間近に触れ、コロナ禍で疲弊した日常生活に、感動や勇気、希望をもらうことができたと感じ、多くの人からも同じような気持ちとなったとのことのお言葉もいただき、皆様の心に残る大会であったことと確信しております。また、インターネット中継を通じ、本村の美しい自然環境を、世界中に発信できたことは、村の大きな財産となりました。

本村は、明治22年の村政施行以来、130年以上の歴史を誇る伝統ある村であります。今後も、オリンピック開催地として世界に誇れる美しい自然を後世に受け継ぐよう、皆様のご協力をいただきながら取り組んでまいりたいと思っております。

ありがとうございました。



大会概要

オリンピックは4年に一度開催される世界的なスポーツの祭典です。スポーツを通じた人間育成と世界平和を究極の目的とし、夏季大会と冬季大会を行っています。

オリンピックの歴史は古く、1896年に第1回近代オリンピックがギリシャのアテネで開催されました。その後、4年を周期に世界各地で開催されています。第1回のアテネ大会では14か国241人の選手の参加でしたが、今や200か国1万人以上の選手が参加しています。このことから、オリンピックは世界中の人々が参加する世界最大の「スポーツの祭典」と言えます。

日本ではこれまで、夏季オリンピックが1回、冬季オリンピックが2回開催されてきました。今回の東京2020オリンピックが2回目の夏季オリンピックとなります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、2020年に予定されていた東京オリンピックは近代オリンピック史上初めて延期されてしまいました。その後、約1年間の延期を経て、2021年7月23日から8月8日までの期間、東京で記念すべき第32回オリンピックが開催されました。世界205の国と地域から選手が参加し、33競技339種目が実施されました。日本からは583人の選手が参加し、それぞれの競技に臨みました。

結果は金メダル27個・銀メダル14個・銅メダル17個と、日本史上最多のメダルを獲得しました。

一方、パラリンピックは障害者を対象とした世界最高峰の障害者スポーツの国際競技大会になります。4年に一度、オリンピック終了後に同じ会場を使用して開催されます。パラリンピックの発祥は、1948年にイギリスのストーク・マンデビル病院で行われた小さな競技会までさかのぼります。この競技会が1952年に国際大会となり、1960年に開催された大会が、第1回パラリンピックと呼ばれるようになります。

今回の東京大会で16回目の開催を迎え、2021年8月24日から9月5日までの期間、世界162の国と地域から選手が参加し、22競技540種目が実施されました。日本からは254人の選手が参加しました。

金メダル13個・銀メダル15個・銅メダル23個と、過去2番目に多いメダルを獲得しました。



年表・村の活動

2018
(平成30年)

- 8月 9日 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースのコースに決定
- 8月 14日 道志村HPオリンピック特設サイト開設
- 11月 10日
～11日 県民の日小瀬会場 自転車競技ロードレース開催記念イベント
- 12月 20日 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースPR動画配信開始



東京2020オリンピック競技大会自転車ロードレースのコースに決定(2018.8.9)

2019
(平成31年
令和元年)

- 1月 広報どうしオリンピック特集掲載開始
- 1月 9日 自転車競技ロードレースPRバナー設置
- 1月 10日 道の駅どうしに東京2020大型パネル2基設置
- 1月 13日 成人式オリンピック・パラリンピックブースの設置
- 3月 3日
～29日 フラッグツアー山梨県入り
- 3月 4日 道志村役場フラッグ展示
- 3月 11日 オリンピック500日前イベント
- 4月 道志みちサイクルサポートステーション運用開始
- 6月 8日
～9日 Mt.ヒルクライム ブース出展
- 7月 7日 プリヂェストンからロードバイクの贈与
オリンピック飯島誠氏による講演
- 7月 21日 東京2020オリンピックテストイベント
- 7月 24日 東京2020オリンピック開催1年前
東京2020オリンピック1年前セレモニー
- 7月 25日 東京2020オリンピックロードレース1年前
オリンピックポロシャツにて執務
- 7月 31日 道志小中学校オリンピック・パラリンピック教育推進事業推進校指定
- 8月 17日 道志村主催 東京2020オリンピック1年前イベント
- 8月 25日 東京2020パラリンピック開催1年前
- 9月 14日 道志小学校運動会オリンピックコラボ企画実施
- 9月 20日 東京2020オリンピック300日前イベント第1弾
議会本会議においてオリンピックポロシャツを着用
- 9月 26日 東京2020オリンピック300日前イベント第2弾
楽っとうしにおいて、保育所の子供たちによるパブリカ披露
- 9月 28日 東京2020オリンピック300日前イベント第3弾
保育所運動会オリンピックコラボ企画
- 9月 29日 山中湖主催 東京2020オリンピック300日前イベント 道志村ブース出展
- 10月 5日 県民の日富士吉田会場 山梨県と合同出展
- 10月 11日 献血会場においてPRグッズの配布
- 10月 25日 いきいきどうし健康事後指導会場においてPRグッズの配布
- 10月 31日
～11月 4日 オリンピック参画プログラム「やまゆりセンターまつり」の実施
- 11月 3日 山中湖村サイクルクラシック会場において道志村ブース出展
- 11月 9日 自転車教室の実施
- 11月 16日
～17日 県民の日小瀬会場 山梨県と合同出展
- 11月 21日 東京2020オリンピックを見据えた大規模訓練・国民保護訓練の実施



道志村役場フラッグ展示(2019.3.4)



プリヂェストンからロードバイクの贈与(2019.7.7)



東京2020オリンピックテストイベント(2019.7.21)



道志村主催 東京2020オリンピック1年前イベント(2019.8.17)



県民の日小瀬会場 山梨県と合同出展(2019.11.16～17)



パラリンピアン鈴木徹氏による講演(2020.1.16)

11月 23日 オリンピック参画プログラム「道志みちに恩返し」の実施
12月 新型コロナウイルス世界各地で発見

2020 (令和2年)

1月 期間限定オリンピック・パラリンピック仕様の婚姻届・出生届の配布
1月 12日 成人式オリンピック・パラリンピックブースの設置
道志小中学校教育イベント
1月 16日 パラリンピアン鈴木徹氏による講演
新型コロナウイルス国内初確認
1月 29日 イトーヨーカドー大船店 オリンピック・パラリンピックブースの設置
~2月 2日
2月 5日 イトーヨーカドーアリオ橋本店 オリンピック・パラリンピックブースの設置
~9日
2月 12日 イトーヨーカドー甲府昭和店 オリンピック・パラリンピックブースの設置
~16日
2月 19日 道志小中学校オリンピック・パラリンピック応援給食の実施
3月 24日 **東京2020オリンピックの延期が決定**
7月 22日 東京2020オリンピック1年前企画
~8月 17日 期間限定で道志みちを装飾
7月 23日 東京2020オリンピック開催1年前
8月 24日 東京2020パラリンピック開催1年前
10月 29日 東京2020公式アートポスターの展示



イトーヨーカドーアリオ橋本店 オリンピック・パラリンピックブースの設置(2020.2.5~9)



ウェルカムボード除幕式(2021.6.25)



山梨県聖火リレー[2日目](2021.6.27)



道志みちのシティドレッシング(2021.7.5~)



東京2020オリンピック自転車競技ロードレース[女子](2021.7.25)



東京2020パラリンピック聖火採火式[道志村](2021.8.12)

2021 (令和3年)

3月 25日 聖火リレー出発(~7/23)
4月 14日 東京2020オリンピック開催100日前
4月 14日 東京2020オリンピック開催100日前企画
~5月 村内教育関係施設等を装飾
5月 4日 聖火トーチ展示
~9日
5月 16日 東京2020パラリンピック開催100日前
6月 25日 ウェルカムボード除幕式
6月 26日 山梨県聖火リレー(1日目)
6月 27日 山梨県聖火リレー(2日目)
7月5日~ 道志みちのシティドレッシング
7月 14日 オリンピアン中山陽介氏による講演
7月 23日 東京2020オリンピック開会式
7月 24日 **東京2020オリンピック自転車競技ロードレース(男子)**
7月 25日 **東京2020オリンピック自転車競技ロードレース(女子)**
8月 8日 東京2020オリンピック閉会式
8月 12日 東京2020パラリンピック聖火採火式(道志村)
8月 13日 東京2020パラリンピック聖火採火式(山梨県)
8月 15日 東京2020パラリンピック聖火出立式
8月 24日 東京2020パラリンピック開会式
9月 5日 東京2020パラリンピック閉会式

ロードレースマップ・概要

オリンピックとロードレース

日本人にとって自転車競技ロードレースとはあまり馴染みのない競技ですが、第1回のアテネオリンピックからある歴史ある競技になります。ロードレースにはワンデーレースとステージレースの2種類があります。ワンデーレースは1日で決着がつき、基本的に着順を競います。一方、ステージレースは数日間レースを行い、様々な分野での成績を競います。オリンピック自転車競技ロードレースではワンデーレースが採用されています。

また、オリンピックでは国ごとに参加できる選手の上限数が決められています。東京2020オリンピックでは男子が最大5名、女子が最大4名となっています。参加できる選手が多い国ほど、それぞれの選手に役割をもたせることができ、試合を有利に進めることができます。日本では男女共に2名の参加が決まりました。

参加国 男子：57か国(130名) 女子：42か国(67名)

残り 89 km

登りを終えたところでは、逃げ集団の選手たちがすでに捕まっているかもしれませんが、まだ先行していたとしても、後方集団から追いつきたい選手が出てきて、下り区間での合流を狙うでしょう。また、登りで最後にトップ集団と離れてしまった選手たちも、下りで復帰できるチャンスがあります。

残り 139 km

ラスト20km内にも通過する籠坂峠を1回通ります。タイム差を縮めたいチームがアシストを使い集団のペースアップを始めるはずですが、アタックをかけるにはまだ早いです。有力選手は最後の勝負に向けてコースを確認し、ようやく長い下り坂になります。

残り 145 km

「長池親水公園」付近では、雄大な富士山がいきなり選手たちの目に飛び込んできます。この時点では、山伏峠でメイン集団が動いたとしても、逃げ集団とは大きなタイム差がまだあるはずですが。

残り 101 km

富士グリーンラインは、15kmで1000mの獲得標高差がある厳しい上り坂なので、のぼりを得意としている選手が動いてくるでしょう。しかし、ゴールまで100km近く残っていることもあり、優勝候補の選手にとってはまだ勝負するには早いです。実力差のある選手やアシストとして役目を終えた選手たちはここで離れていき、メイン集団の人数が半分近く減ることが予想されます。

残り 159 km

「道の駅どうし」を通過し、山伏峠に近づくにつれて傾斜がきつくなっていきます。スタート地点からはすでに100km近く走っており、この付近でタイム差は最大になるでしょう。山伏峠付近まで来れば、メイン集団の動きにより初めてタイム差が縮まる可能性もあります。

残り 29 km

三国峠の頂点にたどり着いた途端に下りへ入ります。登りで飛び出した選手が、道路の道幅を最大限に利用し、全開で下ります。選手は富士山と湖を眺められる今大会屈指の絶景スポットを楽しむ余裕はありませんが、世界中で観戦している人たちにとっては非常に印象的な場面となるに違いありません。

残り 36 km

三国峠は、距離は6.7kmとグリーンラインの半分ですが、明神峠までの5kmの平均勾配は11.1%と非常にきつ、特に途中の「ドーナツ区間」(路面がドーナツ状の模様になっている区間)では、20パーセントを超えるところもあります。間違いなく、有力選手が勝負をかけるでしょう。このコースの見どころです。

残り 58 km

小山町に入ってから、公道+富士スピードウェイ1周を合わせた周回を2周回ります。コーナーとアップダウンが続くこの区間を活かし、三国峠を先頭から離れずに超えるためには逃げておきたい選手が出てくるに違いありません。しかし、いよいよ勝負所に近づいてきているので、集団での位置取りが激しく、ペースが下がることはないでしょう。非常に戦略的で予想がつきにくく、面白い展開になりそうです。

残り 124 km

富士グリーンラインの手前まで登りが苦手な選手は、エースの選手をアシストするため、メイン集団のペースが上がるでしょう。それに対して、序盤から逃げ集団を形成している選手たちは、体力が徐々に消耗し、タイム差を保つことに必死になるはずですが。

山伏



谷相坂



山中湖

富士スピードウェイ Goal

陸上自衛隊 東富士演習場

御殿場市

南足柄市

御殿場IC

御門PA(下り)

御門PA(上り)

釜之前

残り 192 km

ここからは「道志みち」に突入します!それでも残りの距離はまだ長いので、メイン集団は焦らず、逃げ集団とのタイム差は広がり続けるでしょう。

残り 206 km

「尾根幹線」(南多摩尾根幹線道路)を抜けて、橋本周辺でようやく数名の選手が逃げることに成功し、次にタイム差を稼ぐことに集中するでしょう。それに対するメイン集団は、逃げ集団の中に先行されたくない選手が入っていない限り、逃げを認めると考えられます。

残り 234 km

「是政橋」がリアルスタートです!ここから競技が始まります。

残り 244 km

武蔵野の森公園

青い区間はパレード走行区間です!
「武蔵野の森公園」がニュートラルスタートとなっており、「是政橋(これまでばし)」のリアルスタートまで選手たちは先導車の後ろにつきながら、約10kmの間、一定のペースで走行します。

残り 228 km

レース序盤は、力勝負では勝てないと考えている選手たちが先手を取り、早い段階から逃げようとする展開となるでしょう。
多摩地域の地形も激しく、ハイペースのスタートが予想されます。

残り 200 km

45kmに渡りずっと街中を走ってきた選手たちは、小倉橋で相模川を横断し、少しずつ市街地を抜けていきます。
メイン集団は大きな動きを見せず落ち着いた状態で進む可能性が高いですが、タイム差を稼ごうとする逃げ集団は、先頭交代を行いつつハイペースを維持するでしょう。

道志村の見どころポイント



山伏峠頂点

残り 171 km

丹沢山地に囲まれながら、40kmも続く登りっぱなしの「道志みち」を走行します。逃げ集団との差が大きければ、メイン集団がこの区間で簡単に追いつくことはできないでしょう。
しかし、終盤に難易度が高いため、メイン集団は後半に追いつけると判断し、この区間では、体力を保つため無理はしないでしょう。
そのため、差が最大で15分近くまで開くことも予想されます。

Tokyo 2020 Olympic Games Cycling Road Race Course

東京2020オリンピック競技大会 自転車コース

コースは、男女ともに武蔵野の森公園をスタート会場とし、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県内を通り、富士スピードウェイでゴールします。

コース総距離は、パレード走行区間10kmを含む男子約244km、女子約147km、獲得標高(スタートからゴールまでの上った高さの合計)は男子約4,865m、女子約2,692mとなります。男子は、大会第1日目の7月24日(土)11時にスタート、女子は2日目の7月25日(日)13時にスタートし、世界のトップレーサーがゴールの富士スピードウェイを目指します。

東京から富士山麓に挑む景色の変化と雄大な地形の映像は、世界中に東京2020オリンピック競技大会の開幕を印象付けます。男女ともに、起伏の激しい難易度の高いコースとなりました。

●スタート:武蔵野の森公園 ●ゴール:富士スピードウェイ

[総距離:約244km、レース距離:約234km(スタート後10kmはパレード走行)、獲得標高:約4,865m]

(START)武蔵野の森公園→是政橋

武蔵野の森公園→入見街道700m→「基督教大南門」(左折)→東八道路3.2km→「前原交番前」(左折)→小金井街道2km(右折)→600m「けやき並木北」(左折)→800m(右折)→200m(左折)→府中街道

(OFFICIAL START)是政橋→道志みち

府中街道3.6km(右折)→800m「向陽台小学校南」(左折)→500m「稲城五中入口」(右折)→900m(左折)→「稲城中央公園」(左折)→900m(右折)→400m「長峰二」(左折)→700m「若葉台公園西」(左折)→300m(右折)→300m「若葉台小学校西」(右折)→400m「多摩東公園」(右折)→400m「聖ヶ丘西」(左折)→200m(左折)→800m「聖ヶ丘二」(右折)→1.1km「聖ヶ丘一」(左折)→500m「多摩馬引沢」(左折)→1.4km「多摩東公園」(右折)→3.5km「南豊ヶ丘フィールド前」(右折)→1.5km「壺ヶ丘小入口」(左折)→200m「多摩青木実」(右折)→1.3km「多摩南地域病院」(右折)→300m「島田体育センター入口」(左折)→多摩ニュータウン通り6.4km→「多摩ニュータウン入口」(右折)→町田街道2.3km→「坂下」(左折)→600m「元橋本」(右折)→900m「相原2」(左折)→300m「相原台」(右折)→国道413号線→2.8km「久保沢」(左折)→100m(右折)→県道510号線5.6km→「串川橋」(右折)→国道412号線1.6km→「関」(右折)→2.4km「寶山」(左折)

道志みち→山中湖→富士権野→富士スピードウェイ(1周目)

→国道413号線43.1km→「平野」(右折)→9.6km「旭日丘」(右折)→8.7km「須定」(左折)→151号線6.5km→(右折)→2km(左折)→国道469号線5km→「原里小前」(右折)→8.2km「須山」(右折)→3.7km(右折)→900m(左折)→200m(右折)→1.2km(右折)→8.7km(右折)→富士山スカイライン15.5km→「玉穂支所入口」(左折)→3.5km(右折)→1.9km(右折)→500m(左折)→2.1km(右折)→2.7km(左折)→富士スピードウェイ1周後Out(公道)

富士スピードウェイ(2周目)→三國峠→山中湖→富士スピードウェイ(FINISH)

→1.5m(右折)→700m「車道蔵」(右折)→1.6m(右折)→2.1km(右折)→2.7m(左折)→富士スピードウェイ1周後Out(左折)→1km「養源院」(左折)→1.4km(左折)→3.8km「旭日丘」(左折)→8.7km「須定」(左折)→151号線3.8km(左折)→0.7km(右折)→5.2km(左折)→富士スピードウェイ1周

距離は目安です。また、「は交差点などを表します。

コースの一部には自動車専用道路・有料道路や一方通行道路を特別に逆走している区間など、通常の自転車走行ができない区間があります。コースには傾斜の大きい峠や急カーブなど、自転車の走行に注意が必要な区間も含まれています。



距離:234km/獲得標高:4865m

インタビュー



interview

1

オリンピックのレガシーとして、道志を自転車の聖地に！

道志村 村議会議員・議長 出羽 和平

できることは協力し、成功に向けて支えていこうと思ひ、コースサポーターに参加しました。テストイベントで当日の様子をイメージし、期待感も高まっていたなかでのパンデミック。開催の是非が議論されていた時は気を揉みましたね。結局1年延期され、役場のみなさんには対応が大変だったと思いますが、無事開催できて良かったです。

レース当日は、自宅周辺で観戦する人が多かったようですね。普段は村外で暮らしているお子さんやお孫さんが来ている家も多かったんじゃないかな。我が家も娘夫婦が来て、みんなで観戦しました。小学生の孫にも、心に残る思い出になったようです。

私は、自宅付近のコースサポートを担当しました。道路に出ようとする人がいたら、事情を説明して誘導するのが当日の主な仕事でしたね。コロナ禍で観光客はほとんどおらず顔見知りばかりですし、みなさん快く協力してくれるのでとてもやりやすかったですよ。

道志は標高500～1000メートル。富士山に向かって走るので、選手のみなさんは爽快だったでしょうし、テレビ観戦した方もおもしろかったのではないのでしょうか。自然豊かな道志村を世界に発信できたことも、とても良かったと思います。オリンピックのレガシーとして、今後自転車競技が文化として発展してくれたらと期待しています。加えて、化石燃料を使わない自転車の聖地として道志村が広く認知され、多くの方に来ていただけるようになったら嬉しいですね。



interview

2

全社で参加したコースサポーター。語り継げる思い出に

株式会社OMT 代表取締役会長 小俣 政英

1964年の東京オリンピックの記憶は、父の肩車で見たアベベの雄姿。夏季オリンピックのたび、その時の情景が目には浮かびます。冬季オリンピックが開催されると、家族で観戦に行った長野オリンピックの思い出話で盛り上がる事ができます。オリンピックはそういう特別なイベントなので、社員にも呼びかけ総勢25名でテストイベントから参加しました。

当初は、自転車が通るだけと甘く見ていたのですが、全然違いますね。最初に1チーム2台のサポートカーとオートバイが来て、その後ろを何台もの自転車が道幅いっぱいになって走っていく。東京・府中をスタートして約1時間、すでに80～90kmも走ってきているのに、もの凄いスピードで走り抜けるんですよ。その迫力は、テレビ画面を通してでは決して感じられない迫力ですし、一瞬とはいえ臨場感をたっぷり味わえましたから、やっていて楽しかったですね。

ヨーロッパでは人気の高い自転車競技ですから、我々がサポートしたレースも多くの方に見て頂けたことでしょうか。そういうことを想像するのも楽しいじゃないですか。

さらに、我々の前を通り抜けた時には逃げ集団とメイン集団にかなりの差があったので、トップで走り抜けた選手が絶対に優勝するだろうと思っていたのですが、片づけを終えて家に帰って結果を確認したら、途中でトップが入れ替わり、別の選手が優勝していた。それでとても驚いたのですが、そんなことも良い思い出になりました。



interview

3

一生に一度の貴重な経験。今後の職務に活かしていきたい

道志村役場 職員 杉本 有華

7月24、25日の2日間、道志村役場の職員は全員参加で、各地区に分かれて様々な役割を担当しました。私も、コースサポーターのリーダーの一人として、10名ほどの一般ボランティアの方々の取りまとめ役を担いました。オリンピックの舞台になるという名誉に微力ながら尽力できることに喜びを感じる反面、本番前日になって初めて全員揃っての顔合わせができるという状況に不安もありました。ところが、いざ始めてみるとみなさん非常に協力的でコミュニケーションも円滑に取れましたし、精力的に働いてくださるおかげですべてがスムーズに進み、無事にレースを終えることができました。また、村内の方も多く参加されていて、村のために働いてくれる人がこんなにいるのだと嬉しく思いました。

これまでは4年に1度の大きなイベントという意識しかありませんでしたが、運営側の一員として参加したことで、非常に多くの方の様々な力が集結して創り上げられていることを身に染みて感じることができました。加えて、会って間もない方々と協力して大きな大会を無事成功させるという経験もでき、とても勉強になりました。この貴重な経験を、今後の職務に活かしていけたらと思っています。

大会終了後、東京オリンピック組織委員会から、道志村のみなさんが大変頑張ってくれて好評だったとお褒めの言葉を頂きました。この場を借りて参加して下さったみなさんに心より感謝申し上げます。



interview

4

その場の人と共有した、最高に楽しくて特別なオリンピック

都留文科大学 地域社会学科4年 小林 史佳

所属するゼミで、以前から、特産品の加工販売や村の魅力を発信する情報誌の作成など、道志村で様々なフィールドワークをさせていただいており、そのご縁でコースサポーターにも参加させていただきました。私は、山伏峠のキャンプ場の前が担当地区だったので、キャンプを楽しんでいる観光客に事情を説明して前に出ないようお願いしたり、石や走行の妨げになる物がないか念入りに調べたり、コーンを置いてコース整備をしたりしました。

選手の前に走っていくサポート車両の方々が、私たちサポーターにも手を振ったり、笑顔を返してくださったりしたことがとても嬉しかったです。また、「もうすぐですね」「ロードレースのルール知っていますか？」などと言葉を交わしたり、「もうすぐ来るよ、ドキドキだね」といった声が聞こえてきたり、通った瞬間に大歓声が上がったりと、その場にいた人たちと臨場感を共有することができ、改めてスポーツっていいなと思うことができました。さらに、起伏がある場所なので選手の方々がスピードを落として登って行かれ、その分選手の方々をゆっくり見ることができたことも、私たちにとっては嬉しいことでした。

大学卒業後は、地元新潟の新聞社の記者になります。今回、コースサポーターをさせていただいたことで、いつかオリンピックの取材に行き、選手の活躍や会場の興奮を自分の言葉で伝えたいという新たな目標ができました。必ず実現したいと思います。

結果

男子ロードレース

順位	氏名	国
1位	リチャル・カラパス	エクアドル
2位	ワウト・ファン・アールト	ベルギー
3位	タデイ・ポガチャル	スロベニア
～		
35位	新城 幸也	日本
～		
84位	増田 成幸	日本
～		

女子ロードレース

順位	氏名	国
1位	アナ・キーゼンホファー	オーストリア
2位	アネミック・ファン・フルーテン	オランダ
3位	エリザ・ロンゴボルギーニ	イタリア
～		
21位	與那嶺 恵理	日本
～		
43位	金子 広美	日本
～		

男子ロードレースではエクアドルのカラパス選手が優勝を果たしました。カラパス選手はゴール残り25kmで先頭集団から抜け出し、そのまま集団に追いつかれることなく、6時間5分26秒でゴールしました。一方、2位争いは激しく、ゴール前のスプリント勝負となりました。2位がベルギーのアールト選手、3位がスロベニアのポガチャル選手でしたが、2位から9位までの選手がゴールタイム6時間5分26秒と同じタイムであり、接戦が繰り広げられました。

男子のコースは難しく、完走できたのは僅か85人しかいませんでしたが、日本から出場した新城選手は35位(6時間15分38秒)、増田選手は84位(6時間25分16秒)で完走することができました。

女子ロードレースは男子のコースに比べて距離が約100km短く、獲得標高も約2000m低く設定されております。優勝したオーストリアのキーゼンホファー選手はスタート直後に集団から抜け出し、そのまま逃げ切ることができました。多くの場合、逃げの選手は途中で集団に追いつかれてしまうのですが、オリンピックの舞台で逃げを成功させました。2位はオランダのフルーテン選手、3位はイタリアのロンゴボルギーニ選手になります。

日本から出場した與那嶺選手は21位(3時間55分13秒)、金子選手は43位(4時間1分8秒)で完走することができました。

レガシー



七里塚



サイクルサポートステーション

オリンピックは競技をすることだけが目的ではありません。オリンピックが開催されることで、その土地に新たな文化やレガシーを残していくことにも意義があります。

道志村では、自転車競技ロードレースのコースとなったことから、様々なサイクリストたちに安心して快適にサイクリングを楽しんでいただくために、レガシーとして「道志みちサイクルサポートステーション」を設置しています。また、七里塚の内、起点と七里目にオリンピックの銘板を設置しました。

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、村民の皆様やロードレースのコースサポーターの皆様には、多大なるご協力をいただきましたことを、深く感謝申し上げます。